

令和4年(2022)11月 『田んぼの水路にも松子のメダカ！』

洞庭湖周辺の里山では、秋の草花、とりわけ野菊が賑やかな季節になりました。洞庭湖は、江戸時代に一宮藩主の加納久徴によって作られた、農業用のため池です。

一宮川以北の九十九里平野の水田は利根川から両総用水が引かれています。ところが、一宮川以南の水田は、洞庭湖や周辺のため池の水によって灌漑されているのです。

洞庭湖には松子川の水が流れこみます。そして、下流の水田の水路にはメダカやヌマエビ、時にはウナギの幼魚などを見つけることができます。もしかしたら、松子のメダカも流れ着いているかもしれません。そんなつながりを考えながら秋の里山を感じてください。

<問合せ先>

増田 090-8045-0606 小池 070-4027-7098

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

